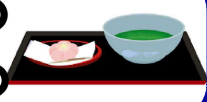


# 校長室より いっぴく



令和3年5月28日  
長瀬小学校  
校長室だより  
No.2

学校周辺は、水田の稲も風になびいて成長している風景となっています。

「長瀬たてわりリンピック」も晴天のもとで、子供たちは競技や係の仕事に力を発揮しました。ご家族の人数制限をしなければならなかったことは、大変申し訳なく、今後、新型コロナウイルス感染防止対策を十分にとり、皆様に学校での子供たちの様子をご覧いただける機会を可能な限り多く設けたいと考えています。少々、お待ちください。



第1回の「かぞくとチャレンジ 家族の手をにぎってみて、感じたことを書いてみよう」にご協力いただき、ありがとうございました。子供たちやご家族の皆さんの感じたこと、思ったことを読み、互いに家族を思いやる気持ちが伝わり心が温かくなりました。提出された全てを紹介したいところですが、紙面が限られていますので、数名分を紹介します。

これからも「かぞくとチャレンジ」を提案しますので、ぜひ、お子さんとふれあいながら家族の絆を確かめてください。

1年

ママの手:つめたい。

パパの手:ごつごつ。

父

子供4人と久しぶりに手を握ってみて、小さかった手は、とても大きく温もりがあります。子供たちの健やかな成長を肌で感じる事ができました。

1年

おかあさん:あったかい、やわらかい、うれしいきもち

おとうさん:あったかい、かたい、うれしいきもち

母

小さくて温かい手を初めて繋いだ日から7年が経ち、今では手も体も大きくなり頼もしく感じましたが、今も変わらず手を繋ぐと温かく幸せな気持ちにさせてくれます。大切な時間です。

2年

ママの手:いつもやさしい手です。

パパの手:しごとがとくいな手です。

いもうとの手:いつもかわいい手です。

母

今回、「こんなところにほくろがあった」と発見がありました。工作が大好きなので、よく手を汚していますが、とても器用に作るので感心します。

2年

おかあさんの手:あったかくて、がさがさ。

おとうさんの手:つめたくて、つるつる。

いもうとの手:あたたかくて、きもちいい。

母

日頃から手を繋ぎますが、もう少ししたら手を繋いでくれなくなるんだろうなと、感じました。

3年

妹の手:小さくてむちむちしている。

ママの手:がさがさしているけど、いろんなことをがんばっているしょうこ。

パパの手:大きくてさらさらしている。

母

いつの間にか大きくなっているなと思いました。いつまで手を繋いでくれるだろうなと思いました。

3年

ママの手:姉より大きくてざらざらしてます。

パパの手:ママの手より大きいです。

姉の手:私の手より大きくてざらざらしてます。

母

最近、私から手を繋ごうとしても嫌がられていたので、久しぶりに繋げて嬉しかったです。宿題の流れで「家族うでずもう大会」が開かれました。

4年

お母さんの手:おりょうりとか、おそうじをがんばっているの、手のひらが、がさがさだったけど温かった。

お兄ちゃんの手:すごくぶあつくて、むちむちで少しつめたかった。

母

柔らかいけど少し硬くざらざらした感触でした。4年生になると手を繋いで出かけることもないので、久しぶりに手をじっくり触ってみたら成長を感じ、嬉しくもあり寂しい気持ちもあり複雑ですけど、とてもいい機会でした。

4年

お母さんの手:温かい手でした。

お父さんの手:ごつごつした手でした。

母

今はまだ、普段でも手を繋いでくれる娘ですが、最近ではお友達の前などに行くとき手を離すことを覚えたようです。たまに繋ぐ手は、まだ小さくてそれでも握り返してくれる強く優しい手になりました。これからどんどん成長しても、ふれあうことを大切にしていきたいと思います。

5年

母の手:あたたかかった。私とくらべて大きかった。

姉の手:大きかった。

姉の手:手があまり大きくない。

母

手を繋ぐこともなくなって、久しぶりに手を握りました。まだまだ小さな手。温かくて優しい手でした。このような機会をつくっていただき、ありがとうございます。

5年

父の手:あたたかかった。大きい手。

母の手:がさがさで働く手。

祖父の手:冷たかった。大きくて働く手。

祖母の手:あたたかかった。

妹の手:小さくてかわいい手。

母

子供の手はぶくぶくして温かく、かわいい手でした。東日本大震災のとき、私は息子を産む途中で、次の日に産み、夢中で小さい手を握りながら守り育ててきました。今では、働く手でりっぱになりました。

6年

母の手:あたたかくて小指がまがってました。

父の手:手のひらは大きいのに指の長さは私とほぼ同じぐらいで、がさがさしていました。

兄の手:お母さんと同じように、小指が少しまがってました。

父

いつも一緒にいるのに子供の手を握る機会があまりなかったので、知らないうちに大きくなってびっくりしました。困っている人がいたら手を差し伸べる温かい手でいてほしいです。

6年

父の手:大きくてあたたかい手。

姉の手:冷たい手。

母の手:さらさらしている手。

母

ぎゅっと握ったとき「こんな大きくなったんだなあ。娘はパパの手に似ているけど、息子は私の手だな」と思いました。身長が私より高くなり、いつの間にか抱きしめる等のスキンシップはなくなっていったけど、嫌がられるけど、していこうかなと思いました。

6年

母の手:冷たかったです。毎日しごとや家事をしているせいかと感じました。

父の手:自分よりも大きくなる手でした。仕事をがんばっているしょうこなのかなと思いました。

母

久しぶりに触った娘の手は、ぶにぶにの小さかった手から、すらっとした手になってました。父親そっくりの手で、肌がすべすべなのは少しうらやましく思いました。

6年

母の手:温かくやさしい手。だれにでもやさしそうな手。

父の手:とても大きな温かい手。

姉の手:がさがさで消毒をいつもしていそうな働き者の手。

母

成長を感じさせる手でした。恥じらいもあるので、じっくり握ってはいはくれませんが、素直でかわいいところは残っていると感じ取りました。